

令和元年度

根岸小学校・根岸中学校

根岸小・中学校ブロックの取組

自分のよさを発揮し、進んで学ぶ子 地域社会に貢献する子 感謝と思いやりの心をもつ子
根岸小・中ブロックの活動は、9年間の長期計画のもと、新しくスタートします。

地域で育つ健やかな体、豊かな心

根岸小学校と根岸中学校の校章は菊の「葉と花」を象しており、小中あわせて9年間の生活を通して「結実の希望」を表しています。私たちはここに込められた思いを大切に、地域とともに活動していきます。



根岸小学校の教育目標

笑顔と拍手につつまれて 夢に挑戦
根岸の子～自らの可能性を信じ、夢の実現を目ざして、たくましくあゆみ続ける子の育成～

根岸中学校の教育目標

生徒一人ひとりの個性を大切にし、自らの可能性を信じ、たえず成長していこうとする人間の育成

3か年×3期の中期方針の積み重ねにより、両校の「学び（教科指導）」、「人（教職員や児童生徒）」、「学びの場」のつながりを実現していきます。

1(カリキュラム)の整備:2019～2021年

新学習指導要領へ移行する中で、小中合同で学習の連続性を踏まえた指導計画の作成を目指します。根岸小・中両校が「授業公開」を行い、小・中学校における学習の取組を理解する中で、「顔の見える関係」を作っていきます。

2 熟成期:2022～2024年

新学習指導要領の全面实施に伴い、新しい教材・機器を用いた授業が始まっている時期。特活・総合も含めた新しい指導計画のもとでの両校の実践を通じて、その改善と深まりを目指します。

3 総括期:2025～2027年

本年度(2019年)に小学校に入学した児童が、中学入学から卒業を迎える時期。これまでの実践を検証するとともに、次期学習指導要領への移行準備に取りかかります。

本年度の重点取組 (3つの柱)

1 各教科の学習の充実

両校の全学年、全学級の授業公開を行い、それぞれの学習・指導面の取組を理解しあう。協議会などを通じて、協働して指導計画作成を目指す。

2 児童生徒理解の拡充

児童支援・生徒指導専門の定例の情報交換だけにとどまらず、特別支援や特別活動などを通じて育む資質・能力について相互理解を拡げる。

3 防災・地域行事

同じ地域に暮らす以上避けては通れない地震津波発災時に備えて、小中合同の防災(引取)訓練の実施を目指す。